

須磨学園 中学校

所在地／〒654-0009 神戸市須磨区板宿町3-15-14
TEL／078-732-1968
学校長／西 泰子
創立／前身は1922年創立の須磨裁縫女学校。
1999年、須磨学園高等学校に改称して
男女共学化。2004年に中学校を新設。
URL／www.suma.ac.jp

	1年	2年	3年
男子	83名	78名	72名
女子	71名	61名	75名
クラス数	4組	4組	4組

中高総生徒数／862名



〈交通アクセス〉
神戸市営地下鉄、山陽電鉄「板宿」駅より徒歩
12分

須磨独自の取り組みを実施し、ダブルスクール不要で難関大へ

「to be myself... なりたい自分になる。そして…」をスローガンに、自主性を育てることを大切にしています。「授業が基本」というポリシーの下、毎回の授業のなかで行う「確認テスト」で、その日のうちに徹底理解を図り、補習や特別講座、映像授業の配信を充実させ、志望校突破をめざします。また、携帯電話を禁止する学校が少なくないなか、生徒全員にフィルタリング機能付きの「制携帯」を支給し、学校の管理・指導の下で正しい使い方を教育。さらに、ノートパソコンも各人に支給するなど、ICT環境が充実しています。

スクールライフ

●教育内容

難関国公立大をめざす「Aコース」と、最難関国公立大をめざす「Bコース」の2コース制を導入し、高2進級時に文系・理系に分かれるまで、コースの入れ替えを毎年行います。「その日のうちに徹底理解」を目標としており、毎時間の授業のなかで理解度を測る「確認テスト」を実施。8割以上得点できない場合は、昼休みや放課後に補習や個別指導を行うこともあります。また、放課後には各教科で習熟度に合わせた特別講座を開講しているほか、毎週土曜日に、英会話（少人数指導）と理科実験を重視した「探究」の授業を実施しています。

■主要5教科の週当たり時間（コマ）数

	英語	数学	国語	理科	社会
1年	8	6	6	4	4
2年	8	6	6	4	4
3年	7	6	6	6	4
合計	23	18	18	14	12

◎1日当たりの授業コマ数：50分×7時限

※土曜日は1～4時限

◎登校時間：8時30分

●部活動

授業に力を入れる一方、部活動への参加も奨励。部活の加入率は、中学生で90%以上です。活動は原則として週3日です。弓道部が全国大会で優勝した実績があるほか、女子陸上部が全国高校駅伝で2回優勝。吹奏楽部が全国レベルで活躍しています。

○文化系／吹奏楽、弦楽、管弦楽、ハンドベル、コンピューター、放送、演劇、将棋、鉄道研究、数学研究、理科研究、競技かるた、美術、ESS、茶道、華道、文芸、料理研究、書道、合唱など

○体育系／水泳、アーチェリー、バスケットボール、バドミントン、ダンス、硬式テニス、卓球、空手道、軟式野球、サッカー、弓道、陸上競技など

●行事

入学後すぐのスプリングキャンプに始まり、文化祭、サマーキャンプ、体育祭、球技大会、芸術鑑賞会、ウィンターキャンプ、書き初め大会などがあります。

●修学旅行・研修旅行

経験から得る学びを重視し、宿泊を伴う研修旅行を6年間で14回実施。うち3回は海外で、中2はアジア、中3はアメリカ、高1はヨーロッパに行きます。いずれも現地の学校を訪問して生徒たちと交流するプログラムが組まれています。

マネーガイド

■2025年度納付金（諸経費を含む）

	入学金	授業料	施設費	その他	計
入学手続時	220,000円	0円	220,000円	180,000円	620,000円
初年度総額	220,000円	576,000円	220,000円	793,200円	1,809,200円

◎寄付金：なし

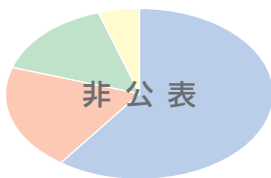
◎授業料：月納

◎奨学金・特待生制度：なし

進学指導の概要

通常の授業や補習のほかに、テーマごとに理解度の低い生徒を集めて行う「少人数指導」や、習熟度に合わせて放課後に行う「特別講座」を実施。この「特別講座」については、生徒が希望の講座を選択でき、高校では志望大学別の実践的な内容となります。また、朝・昼休み・放課後など、生徒の時間

■現役大学進学者の進路の内訳



に合わせて教師が個別指導を行っていることも特徴です。進路指導においては、生徒の個別ファイルを作成し、定期テストや模試などの成績を管理・分

■併設高校から主要大学への合格実績

※上段は現役合格者数、下段は浪人を含めた合格者数。

	北海道大	東北大	東京大	一橋大	東京科学大	東京芸術大	東京学芸大	京都大	大阪大	神戸大	大阪教育大	奈良女子大	大阪公立大	兵庫県立大	京都府立大	神戸市外国語大	滋賀医科大学	京都府立医科大学
23年	7	3	4	—	—	2	—	18	18	28	4	3	9	17	—	4	2	—
24年	9	3	4	—	—	2	—	21	21	34	4	3	11	22	—	4	3	—
25年	5	4	8	—	—	—	—	17	31	49	1	2	18	32	—	1	—	—
	5	5	10	—	—	—	—	18	34	54	1	2	20	37	—	1	1	—
	9	1	6	1	2	2	—	24	38	43	2	1	16	27	1	1	1	1
	13	1	7	1	3	2	—	25	41	48	2	2	18	34	1	1	1	1

	早稲田大	慶應義塾大	上智大	明治大	青山学院大	立教大	中央大	法政大	関西大	関西学院大	同志社大	立命館大	大阪薬科大学	関西医科大学	管文部科学省 海外の大学 校所	海外の大学	国公立・医 学部	私立・医 学部
23年	15	16	4	5	3	—	7	3	50	235	149	144	9	6	34	—	21	12
24年	20	18	8	7	3	—	8	4	66	273	172	182	11	7	34	2	27	20
25年	15	9	3	11	3	2	10	3	71	380	153	206	6	2	32	2	14	5
	20	11	5	15	3	2	10	4	74	403	177	228	6	3	32	2	17	13
	27	17	7	17	6	1	3	4	79	212	155	159	1	10	26	—	28	24
	28	19	7	17	7	1	8	5	82	244	167	180	1	11	27	—	32	34

★指定校推薦枠（2025年度）早稲田大、慶應義塾大、東京理科大、明治大、関西大、関西学院大、同志社大、立命館大など ※人数は非公表

入試情報

■2025年度の入試結果

		募集人員	出願者	受験者	合格者	実質倍率
1回	Aコース 男女	Aコース80 Bコース40	189	185	67	2.0
	Bコース 男女				25	
2回	Aコース 男女		348	341	91	2.1
	Bコース 男女				69	
3回	Aコース 男女		362	343	84	2.1
	Bコース 男女				83	

■2025年度入試 合格者の教科別平均点（男女合計データ）

		算数	国語	理科	社会	合計
1回	Aコース	104.4	92.3	68.5	68.8	3科265.3 4科328.4
	Bコース	115.9	106.5	78.1	70.0	3科300.4 4科364.3
2回	Aコース	96.5	96.8	63.1	65.1	3科256.4 4科318.3
	Bコース	108.3	106.6	70.5	70.4	3科285.4 4科355.2
3回	Aコース	99.1	96.0	95.4	—	算国195.0 算理194.5
	Bコース	115.7	107.7	112.5	—	算国219.8 算理231.0

○1回・2回配点：算国＝各150点 理社＝各100点 3回配点：算国理＝各150点
合格最低点：1回Aコース3科252点・4科315点 1回Bコース3科285点・4科357点 2回Aコース3科248点・4科310点 2回Bコース3科275点・4科344点 3回Aコース194点 3回Bコース212点

※1回と2回は、4教科型と3教科型（算数・国語・理科）のどちらか一方の受験型を選択。選抜方法に区別はなく、いずれも得点率で判定されます。3回については、算数・国語または算数・理科のいずれかを選択。合否は得点率で判定されます。

析。そのデータを学級担任・教科担任・進路指導部が共有し、数値に基づいたサポートを行っています。

25年の募集要項

※以下は2025年の募集要項です。2026年の要項は学校の発表をお待ちください。

入試日／①1月18日 ②1月19日午前 ③1月19日午後
募集人員／男女120名（Aコース80名、Bコース40名）

合格発表／いずれも翌日発表 ※校内掲示およびホームページ

手続締切／①1月20日 ②1月22日 ③1月23日

試験科目／①②国語（60分・150点）、算数（60分・150点）、

理科（40分・100点）、社会（40分・100点） ③国語（60分・150点）、算数（60分・150点）、理科（60分・150点） ※①②は3科（国算理）4科選択、③は2科（算国または算理）

面接／なし

受験料／20,000円

公開行事・説明会予定

【オープンスクール】要予約

9月21日（日）10時～

10月19日（日）10時～

【学校説明・入試説明会】要予約 6年生対象

11月22日（土）10時～

【文化祭】要予約

6月14日（土）午前・午後

6月15日（日）午前・午後

◆変更・中止の可能性もあります。必ず学校ホームページで確認してください。

サピックスOBの声

●海外での研修旅行が充実しています。中2はアジア、中3はアメリカ、高1はヨーロッパと、さまざまな地域を訪れることができます。日本と海外の文化の違いや、コミュニケーションツールとしての英語の重要性について、身をもって認識できることは、とても有意義だと思います。